

輛工組合、關東鐵工組合本所支部、何レ之應援スベキヤ其ノ態度ヲ法コル等右及申(通)被マ也

### 宣言

本組合は汽車會社對車輛工組合の爭議に對し、本所支部の會員が就業する態度の正當なることを聲明す。

今回の事件の概略は、車輛工組合の代表者が、去る五月十五日南葛労働會の渡邊君を介して、舊誠陸會と合同したき旨を申込み來つた。故に誠陸會は十九日總會を開催し合同に賛意を表したのであつた。然るに車輛工組合の幹部は總會當日急に態度を變へて、自から提起した合同案を自から葬つて、自由聯合論者が唱ふる提携が心要だと叫ぶに至つた。のみならず慎重なる態度と友情ある誠意を以て傍聴すべき當日の總會を、多數を待んで議事を妨害し、總會を蹂躪破壊せんと企てたのであつた。

其ればかりでなく、常道を逸した車輛工組合は、舊誠陸會の安藤、向井兩君を誠首せよと會社に迫り意業を以て之が貫徹を圖るに至つた。そうして數日間の意業中は會社内於て、舊誠陸會々員に對し惡罵、暴行實に言ふに忍びざる侮辱を加へた。かくて二十五日に至るや會社は車輛工組合の幹部十七名を誠首した。之を傳へ聞いた本組合本所支部は、車輛工組合と主義主張を異にするも、同一利害の上に立つ兄弟なるが故に労働者として誠首された十七名の復職を期す旨の決議をした。然るに車輛工組合は二十七日組合總會を開き、同會幹部松本君をスパイの名を冠して除名して氣勢を擧げ、翌二十八日からストライキに移つた。

かくの如く本所支部は徹頭徹尾忍辱し、互譲と誠意とを以て車輛工組合に對したに拘はらず、車輛工組合は飽くまで組合利己心に囚はれて、本所支部の破壊を期し、車輛工組合の前身である革新會の生立ち、其の後の一切を隠蔽して、本所支部(舊誠陸會)を御用團體なりと中傷し、罷工後は無責任にも種々なる流言を放つて、本所支部に對し一般組合員の反感を挑發し、其れに依つて團結を固め罷工の勝利を得んと畫策して居る。

本組合は今日まで車輛工組合幹部の態度が、如何に卑劣にして陋策をめぐらして居るかを知つて居る。今回の事件は實に同一工場に働く労働者同志の争ひに端を發して居る。今日吾等労働階級の多くは失業に泣き、生活の壓迫を受けて悲惨と窮乏のどん底にある吾等労働者は互に提携協力し全力を擧げて資本家階級に對抗すべき秋である。然るに今日兄弟船にせめぐの愚をなすは實に忍びざる所である。

然しながら吾等は車輛工組合がかゝる無謀なる態度を以つて多數の力を頼み、同一利害を有する同志に挑戦し來る行動を、労働組合運動の本流なりと信するを得ぬ。本組合は今回の如き亂暴なる要求を提さずして車輛工組合がストライキをなしたるに對し、本所支部の會員が就業をなすを正當となし、車輛工組合諸君の反省を促すと共に、かゝる暴慢なる挑戦的行爲に對し、斷乎として應戰することを聲明するものである。

五月三十日

關東鐵工組合